



平成 22 年 5 月 12 日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 安藤道明
(コード番号 1491 東証・大証二部)
問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
(TEL. 03-3201-1541)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 11 月 6 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正 (金額の単位 百万円)

(1)平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	33,500	550	610	630	2 円 18 銭
今回修正予想 (B)	32,491	764	819	854	2 円 95 銭
増減額 (B - A)	1,009	214	209	224	-
増減率 (%)	3.0	-	-	-	-
(ご参考) 前年実績 (平成 21 年 3 月期)	36,595	1,611	1,555	3,315	11 円 45 銭

2. 個別業績予想数値の修正 (金額の単位 百万円)

(1)平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	32,600	380	420	550	1 円 90 銭
今回修正予想 (B)	31,700	624	666	867	2 円 99 銭
増減額 (B - A)	900	244	246	317	-
増減率 (%)	2.8	-	-	-	-
(ご参考) 前年実績 (平成 21 年 3 月期)	35,308	2,171	2,137	3,316	11 円 45 銭

修正の理由

金・銀・プラチナ等の貴金属価格は回復基調にあるなど、一部に景気回復の兆しがみられるものの、企業収益の悪化に伴う設備投資の減少、為替相場の変動等、当社グループの事業環境は依然として予断を許さない状況にあり業績は低迷いたしました。これにより売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては前回見込みを下回る見通しとなりました。

3. 特別損失の計上

- (1) 「固定資産の減損に係る会計基準」を踏まえ、減損損失が認識された店舗に係る資産の帳簿価額の全額を減損した結果、特別損失として減損損失 18 百万円を計上することにいたしました。
- (2) 当社連結子会社である株式会社インテックスへの貸付金 1,319 百万円に対し、同社の業績低迷により、通期において 159 百万円の貸倒引当金を計上いたしました。但し、これによる連結決算に与える影響はありません。

注) 上記の予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上